

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

作成日：2024 年 3 月 7 日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	金融（銀行・証券・投資銀行・資産運用・ファンドビジネス等）		
講師幹事名	千田剛司 / 大和田俊也	大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子
学 期	R6(2024)年春夏・秋冬	開講時間	水曜 4～5時限

【受講生に対するメッセージ】 ○以下は、ここ数年の受講者のアンケートや課題レポートからの抜粋です。参考にして下さい。（ ）は受講時の学部学年・性別 現代金融事情の変遷から日本経済停滞の歴史的背景を読み解くことができました。名称は知っているけど内容を深く理解できていない事柄について、実際にそれらを最前線に対応されてきた臨場感ある講師のお話は非常に刺激的で勉強になりました。産業界を牽引されてきた講師の熱い一橋魂に触れることができ、それを引き継いで停滞する日本経済の再建に貢献したいと強く感じました。（経3・男） もともと金融業に対して抱いていたイメージは良いものではなかった。しかしイメージと実際に働いている方々のお話とはあまりに違っていた。もしイメージだけで判断を続け、金融業界という将来の選択肢を外していたらと思うと一抹の恐怖を覚える。 ・・・（略）・・・如水ゼミではかけがえのない学びを得たとともに学生時代に強く影響を受けた授業としてずっと記憶に残っていくと思います。（社3・女） 多くの講師が金融や経済について語る際に歴史、文学、哲学など教養的な分野に触れていた。どの講師も問題意識が高く、勉強に対する意識が刺激され、今後の学生生活にも大きく影響する講義でした。キャリアに対する考え方も大きく変わり、多くの指針を頂いたと思って居ます。（法2・女） 如水ゼミを通して得た「気づき」の中で自分にとって大きなものであると感じたのは、“自分が何を為したいか”という視点で将来設計をするという点である。今まで自分がキャリアについて考える時の判断基準は給料や安定であったが、これらを判断基準とした将来設計には、一本通した軸が欠けているような気がした。（商2・男） 自分の内定先である M&A 業界が与える日本経済への影響の大きさを感ずることができた。・・・（略）・・・率直に言って、キャリアアップを志向して就職活動をしていたが、それ以上に使命感を持って仕事に取り組むモチベーションを得ることができた。（社4・男） このゼミで、金融に少しでも触れることができ、また、その中でも自分の興味のある分野を見つけることができました。韓国では如水ゼミみたいに先輩の方が授業に来てくれるものはないので、会社で働く方の貴重な話や考えなどを聞く機会がありませんでした。・・・（略）・・・すべての授業の時間がとても意味のある時間でした。ここで学んだことは金融だけでなく様々な分野に通用する知識だと思います。（経3・女・韓国留学生） 一言でいうと一橋の授業の中で一番良い授業だと思います。私は金融の基礎的な知識すら無く高校生気分の抜けのないような状態でこの如水ゼミを履修しました。しかし、ゼミが終わった今では金融に関する知識がついたのは勿論のこと、人間として一歩前に進んだ段階のビジョンが見えてくるようになりました。社会の第一線で働く人のお話を聞くことは、大学生の自分にとって本当に刺激的な体験で、今後のことを考えるきっかけになりました。（商2・女） 如水ゼミの講義に参加するたびに感じることは、今後金融業界は一つの領域ではなく、より範囲の広い範囲で他の領域と一緒に張っていくことだった。（・・・）金融についてしか学ぼうとしていなかった自分を反省した。（・・・）今後は金融業界の勉強は勿論、金融業界以外の分野についても興味分野を探し勉強していきたいと思っている。 <後輩に対するメッセージ> 一口に「金融」と言っても様々な職務があります。本ゼミは金融業界における様々な分野を幅広く学べるのみではなく、実務に携わる方から直接お話を伺える又とない機会です。（注意書き：「就活エピソードになるから」「企業とご縁ができるかも」という理由で受講するのはお勧めしません）（社3・女） 真に受講すべき対象は、今まで金融に興味を持ってこなかった、もしくは商・経済系以外の学部の学生であるとあえて言いたい。このゼミは金融に対する学びを深めるという面もあるけれども、金融と社会のかかわり、金融を知って今後の人生をどう生きるかという点に重点を置いたゼミであると感じた。（商2・男）			
---	--	--	--

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

○最後に

如水ゼミだからこそ会える人生経験豊かな先輩方が、大変お忙しい中時間を割いてくれています。金融に関心のある方はもとより、学生生活や学業に意義を見い出せずに悶々としている方、就職活動や将来の人生設計に何らかの指針を求めている方など、問題意識の高い皆さんの参加をお待ちしております。また例年、留学生の方も参加しておりますし、学部、年度を超えた新しい仲間との良き出会いの場にもなることも期待しています。